

## 令和6年度 事業報告

令和6年4月に第8次新潟県地域保健医療計画がスタートし、5疾病6事業及び在宅医療において、より一層の役割を果たすための新たな取組が開始された。新潟県においては薬局・薬剤師の地域偏在が顕著となり、その解消に向けて薬剤師確保計画に基づき適切な施策が確実に進められるよう、県当局との議論を開始した。

また、在宅医療ニーズを踏まえた麻薬・無菌製剤処理、小児への訪問薬剤管理指導及び24時間対応等、薬局における医薬品提供体制の構築が求められる中、本会では地域薬剤師会と連携し、こうした薬局における機能を県薬ウェブサイトで公表した。引き続き、地域住民への周知、薬局の活用について働きかけを行うこととしている。

さらに、新潟県が策定する感染症対策・予防計画に本会として意見を発信するとともに、近年多発する風水害や地震等の大規模災害発生時には、薬剤師が果たす役割への期待が大きくなっていることから、災害薬事コーディネーター設置に向けて県当局と協議し、今後連携して養成事業を計画することとしている。

令和6年6月に施行された診療（調剤）報酬・介護報酬改定及び薬価改定への対応として、会員が正確に理解し適切な保険請求の推進を図るとともに、医薬品の供給拠点としての薬局の体制整備と機能強化、薬剤師・薬局のかかりつけ機能の発揮、医療・介護連携の強化、新興感染症対応のための体制整備を進めている。

医療DXの推進にあたっては、患者のオンライン資格確認によって提供される薬剤や健診等の診療情報の活用とオンライン服薬指導や電子処方箋等に対応するための体制整備や薬局におけるサイバーセキュリティ対策を進めるための働きかけを行った。

なお、薬局にとって深刻な状況が続いている医薬品製造・流通における供給不足への解消に向けて、医薬品の安定供給と医薬品アクセスの確保が早期に回復するよう、日本薬剤師会等と連携して関係機関へ働きかけを行うとともに、ジェネリック医薬品の推進を図るため継続して県民への適切な情報提供に努めた。

組織強化策としては、若手薬剤師による交流を支援して会員の増強に繋げるとともに、薬局オーナーとの意見交換により相互理解を図るためオーナー会議を開催した。また、学校薬剤師会と本会との組織統合を実現して事業内容の見直し等を進めた。

令和8年（2026年）の日本薬剤師会学術大会の新潟開催に向けた準備のため、大会運営委員会を設置して検討を加速させるとともに、新潟開催の意義について会員の理解を図り、機運の醸成を図るための活動を開始した。また、薬剤師の生涯学習促進のための研修会や学術講演会の開催、日薬研修プラットフォームの活用推進など、会員の積極的な自己研鑽に繋がる事業を展開した。

以上のように、年々高まる薬局・薬剤師への期待と求められる役割を果たすため、県内の全ての薬局がかかりつけ機能を強化・充実させ、「地域包括ケアシステム」の構築の目処とされた2025年のスタートに向けて、令和6年度の事業を実施したので報告する。

## 1 組織強化対策

### (1) 会員増強対策の推進(拡充)

組織強化の基盤である会員の増加を図る。

- ① 会員証の発行による研修会受講等における会員以外の参加者との差別化を図ることで主にB会員(管理薬剤師以外の薬剤師)の加入促進につながるよう会員証を発行した。
- ② 県薬の事業運営等について薬局オーナーと情報提供を行うとともに意見等を聞いて相互理解を図るため「オーナー会議」を開催した。

### (2) 青年部の活動の活性化(継続)

- ① 県薬に対する理解を深めてもらうため「次世代薬剤師ユニゾン」として県薬役員等による講演とグループディスカッションを実施した。
- ② 青年部員の交流や情報交換を図るため定例集会を開催した。
- ③ 交流イベント等を開催して、部員、会員の親睦を図った。
- ④ 活動内容を青年部員に広報するため、SNSを活用した外部広報を行うとともに、青年部メールマガジンを配信した。
- ⑤ 各地域における薬物乱用防止普及啓発活動等のイベントへの部員の参画を図るため、各地域へ青年部員名簿を送付した。
- ⑥ 薬剤師の業務内容を紹介するスライドを活用し、小・中学校の薬物乱用予防教室において広報を行った。
- ⑦ 若手薬剤師の資質向上を図るための研修会を開催した。  
講 演 聴覚障害の方との手話によるコミュニケーション  
講 師 新潟県聴覚障害者情報センター 所長 坂井隆行 氏
- ⑧ ビジネスチャット等を活用して薬剤師業務等に関する部員同士の相談できる場を提供した。

### (3) 地域薬剤師会事務局の支援(継続)

地域薬剤師会事務局体制に応じた支援策を講じて、地域薬剤師会活動の充実・強化に努めた。

### (4) 試験検査室廃止後の会館設備の改修(新規)

試験検査室の廃止に伴い不要となった資機材を処分するとともに、検査室の改修工事を実施して多目的室(仮称)として整備した。

## 2 災害及び感染対策

### (1) 災害及び感染対策にかかる整備及び啓発(継続)

- ① 平時の防災対策、災害時の対応、災害医療の制度等について、新潟大学医学部災害医療教育センターが主催し、県薬及び新潟県病院薬剤師会との共催により、新潟県災害薬事研修会を開催した。

テーマ 令和6年能登半島地震から学ぶ

講演 新潟県の災害医療体制及び薬事に関する体制

講師 新潟県福祉保健部地域医療政策課 片桐剛 氏

講演 令和6年能登半島地震における薬剤師の活動

講師 金沢大学附属病院 薬剤部 中出順也 氏

総合討論 他では聞けない、ぜひ聞いてみたいこと

- ② 能登半島地震における災害支援薬剤師の活動報告会として災害対策研修会を開催して情報提供を行った。

テーマ 大規模災害における薬剤師派遣活動について

事例発表 新潟県薬剤師会の対応

救護所及び避難所等における活動

七尾港PFI船舶における活動

特別講演 大規模災害への備え、薬剤師に求められる責務と覚悟

講師 福岡大学薬学部 救急・災害医療薬学研究室 教授 江川孝 氏

- ③ 「災害対策マニュアル」に則り、災害発生時の情報伝達体制の確立と発生時の初期対応の確認等を目的とした訓練を実施した。
- ④ 感染症法に基づく医療措置協定を締結する薬局の平時における研修を目的に、日薬が作成した薬剤師の感染対策に関する研修プログラムを提供した。

## (2) 行政等との連携協力体制の整備(継続)

- ① 新潟県原子力災害医療連絡協議会、新潟県感染症連携協議会及び新潟県救急搬送・受入協議会に参画しも役員を派遣した。
- ② 新潟県が行う安定ヨウ素剤の事前配布計画の策定に参画するとともに、地域薬剤師会と連携して薬局での事前配布等に協力した。
- ③ 新潟県等が開催する災害・感染症対策関連の会議に出席し、意見交換や情報収集を行った。

## 3 医療・介護保険制度への対応

### (1) 保険薬局研修会の開催(継続)

令和6年度診療(調剤)報酬・介護報酬改定及び薬価改定の施行に伴う対応と内容の正しい理解の普及を図るため保険薬局研修会を開催した(ハイブリッド型研修)。

講演 適正な保険調剤のために

講師 新潟県薬剤師会 常務理事 山口喜規 氏

講演 令和6年度介護報酬改定について

講師 日本薬剤師会 常務理事 荻野構一 氏

講演 令和6年度調剤報酬改定について—日本薬剤師会が目指したもの—

講師 日本薬剤師会 副会長 森昌平 氏

(2) 集団指導、個別指導への立会い(継続)

関東信越厚生局及び新潟県との保険薬局指導に立会い、当該指導の円滑な実施と薬局の適正な保険請求事務の推進に努めた。また、関東信越厚生局新潟事務所及び新潟県と保険薬局指導計画に係る打合せ会を開催し、意見交換等を行った。

(3) 「保険薬局だより」の作成(継続)

保険調剤に関する通知等の情報について、メール及び会誌「ジャニファ」等を通じて会員へ周知した。

(4) 10都県薬剤師会社会保険担当者連絡協議会への参加(継続)

関東信越厚生局管内の各都県における調剤報酬請求に関する審査の状況等について意見交換を行った。

(5) 社保・国保・新潟県薬剤師会による調剤報酬審査に係る情報交換会の開催(継続)

適正な保険請求を推進するため、社保・国保のレセプト審査委員及び県薬担当役員で情報交換を行って両審査会間の整合を図り、審査情報等を会員へ「保険薬局だより」等にて周知した。

#### 4 薬局のかかりつけ機能の強化推進

(1) かかりつけ機能強化に向けた薬剤師研修事業の実施と研修効果の向上(拡充)

薬局のかかりつけ機能強化に向け、以下の研修事業等を実施した。

① 無菌調剤に係る基礎研修会(オンデマンド研修)

講演 薬局における無菌調剤の必要性和無菌調剤に係る手続き

講師 新潟県薬剤師会 常務理事 吉田智彰 氏

講演 無菌調剤に関わる消毒と調剤手技

講師 新潟県薬剤師会在宅医療委員会 本部委員 竹野敏彦 氏

講演 在宅医療における栄養・輸液製剤について

講師 新潟県薬剤師会 常務理事 宮川哲也 氏

② 無菌調剤室における実技研修(集合研修)

③ 情報提供・処方提案スキルアップ研修会(集合研修)

講演 より良い薬物療法に向けた情報提供・処方提案の実践

講師 新潟県薬剤師会 常務理事 渡部学 氏

グループワーク 処方提案内容の検討、トレーシングレポートの作成、トレーシングレポートの修正

④ すべての薬剤師に知ってほしい妊娠と授乳研修会(Web研修)

講演 妊娠・授乳期の薬物使用について

講師 新潟青陵大学看護学部 教授 石田道雄 氏

講演 妊娠と授乳と薬の悩みに対して支援できる薬剤師になるために

講 師 新潟県薬剤師会 常務理事 大黒幸恵 氏

⑤ 「妊娠・授乳と薬」相談対応 実践研修会(集合研修)

講 演 当院における妊婦・授乳婦への薬相談対応と最近の話題

講 師 新潟大学医歯学総合病院 薬剤部 本間麻理子 氏

グループワーク 相談対応の実践

進 行 新潟県薬剤師会 常務理事 大黒幸恵 氏

総 括 新潟大学医歯学総合病院 薬剤部 本間麻理子 氏

⑥ 小児在宅医療研修会(Web研修)

講 演 医療的ケア児の病態について

講 師 はまぐみ小児療育センター 医師 赤坂紀幸 氏

講 演 医療的ケア児の生活支援等について

講 師 新潟県医療的ケア児支援センター アドバイザー 桑原拓 氏

事例紹介① 小児期から成人期への移行期支援—共に歩んだ10年—

発表者 みなみ薬局 田邊香織 氏

事例紹介② 小児在宅事例紹介—在宅開始までの経緯—

発表者 しなの薬局坂町店 佐藤舜亮 氏

事例紹介③ 小児の輸液調剤・在宅訪問事例

発表者 中条調剤薬局 相澤宗一郎 氏

トークセッション

進 行 新潟県薬剤師会 常務理事 吉田智彰 氏

⑦ 在宅医療における注射薬管理の基礎知識(Web研修)

講 演 在宅医療における注射薬管理の基礎知識

講 師 新潟県薬剤師会 副会長 宮川哲也 氏

⑧ 在宅医療における栄養管理と褥瘡治療(Web研修)

講 演 在宅医療における栄養管理と褥瘡治療

講 師 新潟県薬剤師会 副会長 宮川哲也 氏

⑨ 在宅医療における注射薬と無菌調剤の虎の巻(Web研修)

講 演 注射薬調剤への薬剤師の関わり

講 師 新潟県薬剤師会 常務理事 吉田智彰 氏

事例発表 注射薬調剤の応需の実際

講 師 大手薬局 小林由依 氏

ディスカッション

進 行 新潟県薬剤師会 常務理事 長澤貴明 氏

長岡市薬剤師会在宅医療・介護委員会 委員長 星尚寛 氏

⑩ 心不全薬剤管理に関する地域研修(Web研修)

研修受講者には薬剤師による慢性心不全患者のフォローアップの実態調査への参加を依頼した。

講 演 薬局薬剤師が取り組む心不全再増悪予防の介入ポイント ―大和高田モデルの実践による多職種連携まで―

講 師 株式会社関西メディコ地域政策部 部長 西垣賢 氏

特別講演 心不全管理の脚本書きと薬剤師の役割

講 師 新潟大学医歯学総合病院 副病院長 循環器内科 教授 猪又孝元 氏

事前説明 心不全患者の調剤後フォローアップの実施と事例収集について

説明者 新潟県薬剤師会 常務理事 長澤貴明 氏

(2) かかりつけ機能強化に向けた地域薬剤師会の活動支援(新規)

薬局のかかりつけ機能強化、連携強化に向け、「薬薬連携のための情報交換会」を地域薬剤師会と共催した。

(3) 医薬品等の供給拠点としての体制を整備するための研修事業の実施(継続)

医薬品等の供給拠点としての体制を整備するため、以下の研修事業を実施した。

① オンライン診療に伴う緊急避妊薬の調剤に係る研修会(オンデマンド研修)

講 演 オンライン診療の適切な実施に関する指針と緊急避妊薬の調剤について

講 師 日本薬剤師会 常務理事 豊見敦 氏

講 演 オンライン診療に伴う緊急避妊薬処方上の留意点

1) 緊急避妊

講 師 日本婦人科医会 宮国泰香 氏

2) 月経と月経異常および性周期のホルモン調節機序

講 師 日本婦人科医会 安達知子 氏

3) OC全般と避妊法

講 師 日本婦人科医会 安達知子 氏

講 演 オンライン診療に伴う緊急避妊薬の調剤について

1) 薬局での調剤の手順について

講 師 日本薬剤師会 理事 亀井美和子 氏

2) 患者対応等について

講 師 日本女性薬剤師会 副会長 小宮山貴子 氏

② 健康サポートのための多職種連携研修会(研修会A)(集合研修)

第1部 健康サポート薬局の基本理念

講 演 健康サポート薬局の基本理念(動画講義)

講 師 日本薬剤師会 前会長 山本信夫 氏

日本薬剤師会 前副会長 田尻泰典 氏

講 演 健康サポート薬局の理念:地域包括ケアシステムに対応した薬局・薬剤師  
「新潟県における健康サポート薬局の姿」

講 師 新潟県薬剤師会 常務理事 長澤貴明 氏

新潟県薬剤師会 理事 高橋由紀子 氏

グループ討議 薬局が地域の資源とどのように繋がるか

進 行 新潟県薬剤師会 常務理事 大黒幸恵 氏

## 第2部 当該地域の医療・保健・健康・介護・福祉等の資源と健康サポート薬局の連携

講 演 「健康立県」の実現を目指して ―新潟県の健康施策について―

講 師 新潟県福祉保健部健康づくり支援課 健康立県推進班 田浪崇暢 氏

他職種等の取り組みについて ―健康サポート薬局との連携を探る―

講 演 新潟県におけるI・J・Uターン支援について

講 師 新潟県委託事業「にいがた暮らし・しごと支援センター事業」受託事業者  
株式会社パソナ 長谷川隼士 氏

講 演 身寄り問題に挑む ―薬剤師への期待―

講 師 身寄りのない問題研究会 代表 須貝秀昭 氏

講 演 新潟県における医療・保健・健康・介護・福祉等の資源について

講 師 新潟県薬剤師会 常務理事 長澤貴明 氏

## 第3部 地域包括ケアシステムの中で健康サポート薬局としての役割を発揮するための 各職種・機関との連携による対応等に関する演習

ケーススタディ

進 行 新潟県薬剤師会 常務理事 大黒幸恵 氏

## 第4部 私たちの目指す健康サポート薬局の姿

グループ討議 健康サポート薬局として今私たちに何ができるか

進 行 新潟県薬剤師会 常務理事 大黒幸恵 氏

### ③ 薬剤師のための認知症対応力向上研修会(集合研修)

講 演 かかりつけ薬剤師の役割

講 師 新潟県薬剤師会 研修担当講師 本間裕也 氏

講 演 基本知識

講 師 新潟県薬剤師会 研修担当講師 本間雅克 氏

講 演 薬局業務における実践

講 師 新潟県薬剤師会 研修担当講師 荏原健志 氏

講 演 地域・生活における実践

講 師 新潟市福祉部地域包括ケア推進課 松野祐子 氏

### ④ 高度管理医療機器販売等に係る継続研修会(オンデマンド研修)

講 演 医薬品医療機器等法の概要および改正

講 師 (公財)医療機器センター 常務理事 新見裕一 氏

講 演 医療機器の品質管理

講 師 (一社)日本医療機器産業連合会 販売・保守委員会委員 浦富恵輔 氏

講 演 医療機器の不具合報告及び回収報告

講 師 (一社)日本医療機器産業連合会 PMS委員会委員 三田哲也 氏

講 演 医療機器の情報提供および薬剤師が知っておきたい機器等の話題

講 師 (公財)医療機器センター医療機器産業研究所 主任研究員 本田大輔 氏

(4) かかりつけ機能強化、対人業務の充実に向けた薬局に対する周知・啓発（拡充）

すべての薬局が「かかりつけ薬局としての基本的機能」を備え、特に対人業務を充実させるよう以下の取組みを実施した。

- ① 会員からレビューの対象となるトレーシングレポートを募集し、レビュー、フィードバックを行った。
- ② 薬局のかかりつけ機能の強化の関する実態調査を実施した。
- ③ 服薬フォローアップの実施強化を呼びかけるとともに、県民へ薬局の機能に関する周知、啓発を行った。

(5) 健康サポート薬局、認定薬局制度の定着促進（新規）

地域連携薬局間の顔の見える関係の構築、役割を果たしていくための方策、連携の在り方等について、情報交換を行うことを目的とし「地域連携薬局における薬局間連携のための情報交換会」を開催した。

(6) 医療安全対策に係る研修の開催（継続）

県病薬と共催し安全管理責任者の任務と医療安全をテーマとして「リスクマネジメント研修会」を開催した。（ハイブリッド型研修）

講演 患者情報の収集・情報提供の新潟県内での現状と課題について

講師 新潟県薬剤師会 常務理事 長澤貴明 氏

特別講演 医療DXにより変わる薬剤師業務とリスク、その対策

講師 JA北海道厚生連網走厚生病院 薬剤科 佐藤弘康 氏

(7) 地域薬学ケア専門薬剤師研修制度への対応（継続）

日本医療薬学会の「地域薬学ケア専門薬剤師研修制度」に係る研修調整については、申請がなく実施しなかった。

## 5 地域包括ケアシステムにおける医薬品提供体制等の整備

(1) 地域包括ケアシステムの体制整備に向けた多職種連携、薬局の役割の啓発（拡充）

- ① 地域における夜間・休日の医薬品提供体制、薬局の機能等対応サービスについてリスト化し、県薬ウェブサイトおよび地域薬剤師会ウェブサイトで周知を行った。
- ② 実態調査の結果から、口腔内の諸問題に対する認識や医歯薬連携の推進に向けた現状について共有し、課題・対応策を検討するため、以下の事業を実施した。
  - ・医歯薬連携の推進に向けた実態調査
  - ・医歯薬連携のための多職種会議
- ③ 薬剤師の職能・訪問業務に関する多職種の理解を図る、「おくすり相談会」に薬剤師を派遣した。



(2) 医薬品提供体制の整備に向けた地域薬剤師会との連携促進、支援(継続)

在宅医療の着実な推進を図るため、地域薬剤師会への情報提供、定期的な取組状況の報告を依頼した。また、地域薬剤師会担当者を対象とした会議を開催した。

(3) 在宅医療に関わる薬局の体制強化(継続)

在宅医療に関わる多職種から成る「在宅ケアを考える集いin越後」に実行委員を派遣し、集い開催に参画した。

## 6 薬剤師養成のための薬学教育への対応

(1) 実務実習受入体制の整備と指導薬剤師の資質向上(継続)

- ① 関東地区調整機構からの依頼により、実務実習受入薬局の調整を行った。
- ② 関東地区調整機構からの依頼により、令和8年度薬局実務実習の受入表明調査を行った。
- ③ 認定実務実習指導薬剤師を養成するためにワークショップを開催するとともに、タスクフォース練習会を開催した。
- ④ 認定実務実習指導薬剤師を対象とした更新講習会を開催した。

講 演 薬学教育モデル・コアカリキュラム

講 師 関東地区調整機構 浅井和範 氏

講 演 薬学実務実習に関するガイドライン

講 師 関東地区調整機構 浅井和範 氏

(2) 薬学生実務実習に関する情報収集(継続)

薬学生実務実習の環境整備やワークショップの円滑な実施等を協議する関東地区調整機構や日薬全国会議に参加した。

## 7 地域保健対策の推進

(1) 薬事啓発事業の推進(継続)

- ① 地域の健康維持と保健衛生の向上に資するため、新潟県からの補助事業として「県民のための薬のセミナー」を開催するとともに、主催者を対象にニーズの把握及び事業評価を行うためのアンケートを実施した。
- ② 薬事衛生指導員の資質向上を目的とした説明会を開催し、新任の薬事衛生指導員に同説明会の録画の視聴を促した。(Web開催)

テーマ 基本スキルとポイント

説明者 新潟県薬剤師会 常務理事 大黒幸恵 氏

事例発表者 新潟県薬剤師会 薬事衛生指導員 田中友康 氏

- ③ 地域薬剤師会や薬事衛生指導員の協力を得て、関連団体が主催するイベント等において県民向けセミナーやブース出展等により、医薬品の適正使用や薬剤師の職能についての県民への啓発を行った。

- ④ 県民へジェネリック医薬品の正しい知識の普及啓発を図るため、マンガコンテンツを作成して県薬ウェブサイトで公開するとともに、県民向けの雑誌に広告として掲載した。
- ⑤ お薬手帳、訪問薬剤管理指導、かかりつけ薬局・薬剤師、健康サポート薬局等の資材を活用して、薬のセミナーやイベント等において県民への啓発を図った。

## (2) 薬物乱用防止事業の推進(継続)

麻薬・覚せい剤等の薬物乱用防止及び医薬品の正しい知識の啓発・普及を目的に、薬のセミナーやイベント等においてリーフレットの配布を行った。

## (3) 自殺予防対策の推進(継続)

- ① ゲートキーパーとしての薬剤師の意識向上や実践的なスキル習得を図り、自殺予防対策にかかる適切な対応を行う人材を養成するため研修会を開催した。

講 演 新潟県の自殺の現状と対策

講 師 新潟県障害福祉課いのちとこころの支援室 主任 服部麻耶加 氏

講 演 自殺対策における県薬の取り組み

講 師 新潟県薬剤師会 地域保健委員会本部委員 今井理央子 氏

講 演 すべてのママさんに向けて助産師としてできること ―予防的メンタルケアの必要性―

講 師 ファミくるケア 助産師 高橋萌 氏

講 演 臨床現場における産後うつ病の実情およびその治療

講 師 万代メディカルクリニック 医師 茂木崇治 氏

- ② 自殺予防対策事業にかかる適切な対応を行う人材を養成するワークショップを開催するために、地域薬剤師会へ認定講師を派遣した。

- ③ 薬剤師のゲートキーパー養成のため、ワークショップ講師との意見交換会を開催した。

## 8 ドーピング防止対策の推進

### (1) ドーピング防止に関する啓発・広報活動の推進(継続)

- ① 新潟県スポーツ協会と連携し、競技団体が開催するアンチ・ドーピング研修会へ講師を派遣した。

派遣先 新潟県カヌー協会、新潟県スケート連盟、新潟県トライアスロン連合

- ② 日本スポーツ協会公認コーチ1(軟式野球)養成講習会へ講師を派遣した。

派遣先 新潟県野球連盟

## 9 医薬品販売制度への対応

### (1) セルフメディケーション推進に関する啓発活動の推進(継続)

健康サポートのための薬剤師の対応研修会(研修会B)を開催した。

講 演 薬局・薬剤師を巡る現状と健康サポート薬局

講 師 新潟県薬剤師会 理事 相澤宗一郎 氏

演 習 薬局利用者の状態把握と販売時と販売後の対応(演習)

進 行 新潟県薬剤師会 常務理事 長澤貴明 氏

(2) 医薬品販売制度への対応(継続)

全ての薬局等における医薬品販売制度の法令遵守の徹底に向け、日本薬剤師会が実施する自己点検に協力し、薬局に対して法令遵守を啓発した。

## 10 薬局製剤の推進

(1) 薬局製剤・漢方の啓発(継続)

漢方を活用したセルフメディケーションに関する研修会を開催した。(Web研修)

## 11 電話相談事業の推進

(1) 電話相談の対応(継続)

新潟県から「薬事啓発事業」の補助を受け、フリーダイヤルを活用した県民からの薬に関する電話相談に応じた。

## 12 広報・情報活動の推進

(1) 会誌「ジャニファ」の定期刊行(継続)

県薬事業の広報及び会員への情報提供を目的に、会誌「ジャニファ」を電子ブックとして年4回発行した。

(2) 県薬ホームページの管理(継続)

会員や県民への最新の情報を提供するとともに、県薬に関する情報発信を目的に県薬ウェブサイトの管理と内容の充実を図った。

(3) 県薬事業にかかる広報体制の整備(継続)

県薬の各種事業を会員及び県民等へ効果的に広報するため、各委員会との連携・把握及び課題への対応等により広報体制の整備を図った。

(4) メールニュースの配信(継続)

メールニュースの配信により、会員への即時性のある情報提供に努めた。

## 13 学術研修・生涯教育の推進

(1) 学術研修の支援(継続)

会員の研究発表を支援するとともに新潟県病院薬剤師会及び新潟薬科大学との共催により新潟薬学会を開催した。

・第168回新潟薬学会(ハイブリッド型研修)

一般演題 7題

特別講演 心不全の病態と最新の薬物治療 ―薬剤師のフォローアップの充実のために―

講 師 新潟大学大学院医歯学総合研究科  
循環器内科学 主任教授 猪又孝元 氏

(2) 研修会の共済・後援(継続)

他団体と共催して研修会を開催するとともに、他団体が主催する研修会等を後援して、会員の生涯教育の充実を図った。

(3) 薬剤師生涯学習関連事業の推進(拡充)

- ① 効果的な薬剤師の生涯学習を推進するために、地域薬剤師会と連携して会員の生涯学習の環境整備を図った。
- ② 地域における薬剤師の資質向上を図るため、下越薬剤師会と共催で研修会を開催した。

テーマ 心不全における患者に寄り添った薬物療法支援

演 習 心不全を防ぐ為の薬局薬剤師の役割とその指導について  
心不全患者さんへの対応について

進行役 新潟県薬剤師会 常務理事 渡部学 氏

## 14 学術研究倫理審査への対応

(1) 学術研究倫理審査の実施(継続)

人を対象とする生命科学・医学系研究を倫理的及び科学的観点から、会員等より申請のあった学術研究について倫理審査を実施した。

(2) 研究倫理に関する研修等の支援(継続)

- ① 日薬JPALSの活用を会員に周知する等、研究推進のための支援をした。
- ② 日薬が主催する研究推進に関する全国会議(Web会議)に出席した。

## 15 医療DXへの対応

(1) 医療DXの促進及びICTの活用(継続)

- ① オンライン資格確認や電子処方箋、オンライン服薬指導等に関する情報提供により、医療DXへの対応を図った。
- ② 日薬研修プラットフォームの活用により薬剤師の自己研鑽を支援し、資質向上を図った。

## 16 部会活動の推進

(1) 学校薬剤師部会(継続)

- ① 新潟県学校薬剤師会との共催により、学校薬剤師研修会を開催した。(Web研修)

講 演 災害における学校薬剤師の活動

講 師 新潟県学校薬剤師会 副会長 小出和美 氏

講 演 これから始める学校薬剤師のためのくすり教育・薬物乱用防止教室 一実践  
編一

講 師 新潟県学校薬剤師会 常任理事 埴奈美子 氏

講 演 学校環境衛生定期検査票の改訂と学校環境衛生Q&A

講 師 新潟県学校薬剤師会 理事 五十嵐真紀 氏

(2) 病院・診療所部会(継続)

- ① 中小・療養病院の薬剤師の質向上のための研修会及び診療報酬または地域連携に関する研修会として、新潟県病院薬剤師会との共催により「薬剤業務セミナー」を開催した。
- ② 県薬から発信されるメールニュースを県病薬の会員メーリングリストを通じて部会員等へ再配信し、相互理解の向上を図った。
- ③ 新潟県における病院薬剤師の将来に向けての必要な確保人数を予測する資料を作成し、新潟県病院薬剤師会の病院薬剤師確保に関する検討会にて報告した。

(3) 卸勤務薬剤師部会(継続)

新潟県卸勤務薬剤師会が主催する研修会への参加について部会員へ広報した。

## 17 三師会等関係団体との連携

(1) 三師会との連携(継続)

- ① 新潟県における医療、保健、福祉の向上に寄与するため、新潟県三師会懇談会に役員を派遣して連携強化を図った。
- ② 三師会社会保険担当理事連絡協議会に参画して担当役員を派遣した。

(2) 新潟県民医療推進協議会との連携(継続)

- ① 新潟県民の健康の増進と福祉の向上を図るため、新潟県における医療・介護・保健及び福祉行政の拡充強化をめざして、三師会等関係団体で構成する新潟県民医療推進協議会に参画して連携を強化した。
- ② 新潟県民医療推進協議会が主催する一般県民・多職種等と対象とした「健康寿命延伸フォーラム」の開催について、会員及び県民に周知した。
- ③ 「新潟はっぴー乳ライフ ピンクリボンホリデー2024 in 新潟」にブース出展し、資材の配布及び「おくすり相談」を行った。

(3) その他の関係団体との連携(継続)

- ① 公益財団法人新潟県健康づくり財団に参画した。
- ② 新潟県糖尿病対策推進会議に参画した。
- ③ 新潟県自殺予防対策推進県民会議に参画した。
- ④ 新潟県歯科保健協会に参画した。
- ⑤ 新潟県小児保健研究会に参画した。

- ⑥ 新潟母性衛生学会に参画した。
- ⑦ 新潟栄養・食生活学会に参画した。
- ⑧ NPO法人新潟難病支援ネットワークに参画した。
- ⑨ 公益財団法人新潟県臓器移植推進団体に参画した。
- ⑩ 新潟県交通安全対策連絡協議会に参画した。
- ⑪ 新潟県介護支援専門員協会に参画した。
- ⑫ 新潟県地域包括ケア支援専門職協議会に参画した。
- ⑬ その他関係団体との連携を強化した。

## 18 北陸信越ブロック薬剤師会との連携

### (1) 北陸信越ブロック連絡協議会への参加(継続)

北陸信越ブロック連絡協議会に出席して、北陸信越ブロックの各薬剤師会と連携を図り、情報交換に努めた。

### (2) 日薬(北陸信越)ブロック会議への参加(継続)

日薬(北陸信越)ブロック会議に出席して、日薬事業の確認とブロック内の情報交換・意見交換を行った。

## 19 薬剤師学術大会への対応

### (1) 日本薬剤師学術大会への対応(拡充)

- ① 日本薬剤師会学術大会の令和8年度新潟開催に向けて大会運営委員会を設置した。
- ② 日本薬剤師学術大会へ役員等を派遣して新潟開催に向けた情報収集を行うとともに、参加報告等を会誌「ジャニファ」に掲載して広報に努めた。

### (2) 北陸信越薬剤師大会及び北陸信越薬剤師学術大会への対応(継続)

- ① 北陸信越薬剤師大会及び北陸信越薬剤師学術大会の開催に関する情報を会員へ提供して演題発表等を支援した。
- ② 北陸信越薬剤師大会及び北陸信越薬剤師学術大会に役員等を派遣して情報収集を行うとともに会員へ情報提供を行った。